



生涯学習センターだより

2024. 10. 23 2024 年度第 2 号 (10 月号、通巻 41 号)

発行: 秋田県生涯学習センター

市町村・公民館等職員専門研修を開催しました

本研修は、生涯学習・社会教育関係者、公民館や市民センター等社会教育施設職員に求められる知識や技能について、優れた実践事例等を通して学ぶことにより、行政職員・専門職員としての資質・力量を高めることを目的としています。今年度は7月24日(水)に第1回研修を、10月2日(水)に第3回研修を行いました。(8月開催予定であった第2回研修は、12月4日に延期開催の予定)

第1回研修では、日本赤十字秋田短期大学講師の及川真一氏が、「公民館と防災～避難所設営の考え方～」と題し講義・演習を行いました。講義では、様々な災害の際に現地に駆けつけボランティア活動を行っている自身の経験を基に、防災を学ぶ上で重要なことは『守りたい何かをどう守れるか』であると強調しました。その後、参加者は実際に避難所を運営するワークショップに取り組み、センター講堂を公民館に見立てて避難所を設営してみました。参加者を避難所運営側と避難者側の2つのグループに分け、実際に避難者の受け入れを体験しました。避難者側になったグループは、気持ちが不安定で泣き叫んだり、いらだって大声で叫んだりなど、様々なタイプの避難者を役割演技しました。それに対して、避難所運営側は本部や受付を設置するなど受け入れを円滑に行うための工夫をしました。その後、役割を交換し両方の立場を体験しました。体験後の協議では、避難所運営から気付いたことを意見交流することで、事前の準備や訓練の必要性を再認識したようでした。

最後に及川氏は、今後の公民館の取り組むべき事業について、防災講座や災害時の体制の見直し、「職員の訓練などの災害への備え」と「住民のつながりを深める取組や事業」の2つについて、その必要性を強調されました。そして、取組の根底には「楽しさ」の視点が大切であると述べられ、「楽しいから学びたくなる」が防災を学ぶ際に大切にしたいことであるとまとめられました。



第3回研修では、「防災を通じた地域のつながりづくり」というテーマで研修を行いました。午前の部では、はじめに当センター社会教育主事の布施久典が「コミュニティ・スクールにおける防災への取組～地域住民との『熟議』を核に～」と題して講話と演習を行い、昨年度の能代市二ツ井中学校区のコミュニティ・スクールで行われた防災をテーマにした「熟議」について紹介しました。地域に住む子どもたちの命を守るために各自が何ができるのかを考えるためには、まずは「目標の共有」が必要不可欠であり、そのためには「熟議」が有効であると説明しました。その後で、参加者には実際に二ツ井地区で行われた「熟議」の一部を体験してもらいました。わずかな時間の体験でしたが、活発な意見の交流が行われました。

つぎに、社会教育主事補の和泉洋介が「日常から考える災害情報の活用」と題して講話と演習を行いました。災害が迫った際に、すばやく避難をするためには、日頃から正しい災害情報を得る体験を積んでおくことが重要であると説明しました。演習では、参加者自身のスマートフォンから秋田県防災ポータルサイトや気象庁「キキクル」などにアクセスし、実際に災害情報を得る体験をしました。最後に、地域住民の自助力を養うために、それぞれができることを話し合い、まとめました。

午後からは、日本赤十字秋田短期大学講師の及川真一氏が「地域とのつながりを広げる防災の取組」と題して講話と演習を行いました。講話では東日本大震災で被災した地域の写真を示し、参加者に「復興が(で)取り戻すべきものは何か？」と問いかけました。その後、様々な災害の際に行ったボランティア活動での経験から、災害の教訓を次世代に伝えていくことが重要であると説明されました。最後に、公民館には災害の備えや住民のつながりを深める取り組みや事業が求められていると述べられ、地域に住む人々が「防災を学ぶのは『難しい』から『楽しい』に変えていく取組が大切である」とまとめられました。





「学校・家庭・地域連携総合推進事業」にかかる オーダーメイド型社会教育主事派遣事業

市町村・学校等の課題解決に向け、依頼のあった市町村等に当センター職員が出向き、市町村等の職員と協働・研究して課題解決に取り組んでいます。今年度は2市1県立学校がエントリーしています。

【大館桂桜高校】

高等学校初のエントリーとなる大館桂桜高校は、時代の変化に対応し地域社会の発展にさらに貢献したいという校長先生の考えに基いてコミュニティ・スクールの導入を目指しており、7月の職員研修からスタートしました。9月には職員による「熟議」体験が行われ、「桂桜の生徒にはこんな子どもに育ってほしい」というテーマについて意見を交わし、まとめとして「未来」や「笑顔」というキーワードで全体共有しました。

【能代市】

昨年7月の豪雨で二ツ井小学校が避難所となったことをきっかけに、二ツ井中学校区で開催された「防災熟議」のファシリテートを当センターが担当したことで、今年度の取組につながりました。この後は、学校運営協議会等で話題となったインターネットセーフティをテーマにした「熟議」の開催を12月に予定しています。

【大仙市】

昨年度までの2年間で地区ごとに「熟議」を開催し、地域のみなさんとの協働によるコミュニティ・スクール導入・推進を目指してきました。3年目となる今年度は、これまで南外、神岡、協和、西仙北で「熟議」を開催しました。大仙市教育委員会では今後もこの取組を続け、令和9年度にはすべての学校をコミュニティ・スクールに指定する予定で準備を進めています。



大仙市(神岡地区)
「熟議」のようす



あきたスマートカレッジ 11、12月の予定

会場：秋田県生涯学習センター

【地域の取組学び講座】(無料)[10:00～11:30]

11月30日(土) ○地域産業資源を使ったクラフト
ビール・ハードサイダー造り
～都会に行っても、
戻ってこられる秋田に～
[講師]HOPDOG BREWING合同会社
代表社員 長谷川 信 氏

【東大史料編纂所協力講座】(有料)[10:00～11:30]

11月2日(土) ○毛利氏に見る近世的軍団編成の
成立
[講師]東京大学史料編纂所
助教 立石 了 氏

【北条常久特別企画講座】(有料)[10:00～11:30]

【障害者の生涯学習講座】(無料)[10:00～11:30]

11月16日(土) ○モルックの魅力
[講師]NPO法人 こまちハート・
オブ・ゴールド
クラブマネジャー 菅 善徳 氏

12月14日(土) ○宮川ひろ「東京へ帰る日まで」
(児童文学)

[講師]秋田県生涯学習センター
シニアコーディネーター・
文学博士 北条 常久

12月7日(土) ○みんなが笑顔になる
コミュニケーション術
[講師]秋田大学
名誉教授 武田 篤 氏

